

全力で突っ走れ！ 折乃笠部長

富士山歴訪の旅

1. 大月秀麗富嶽十二景登山の旅 2012年

【13】四番 笹子雁ヶ腹摺山 9月 9日(日)



目次

【1】目的

- (1) 更なる大月発見
- (2) 大月市民特性の地理的背景
- (3) 何事にも目的を持ってチャレンジ

【2】大月市秀麗富嶽十二景 十九峰 地図

【3】	八番 岩殿山	4月30日(月)
【4】	六番 扇山	5月19日(土)
【5】	十一番 高川山	5月26日(土)
【6】	七番 百蔵山	6月10日(日)
【7】	八番 お伊勢山	7月14日(土)
【8】	十番 九鬼山	8月4日(土)
【9】	九番 倉岳山 高畑山	8月13日(月)
【10】	二番 牛奥ノ雁ヶ腹摺山 小金沢山	8月16日(木)
【11】	五番 奈良倉山	8月18日(土)
【12】	十二番 清八山 本社ヶ丸	9月1日(土)
【13】	四番 笹子雁ヶ腹摺山	9月9日(日)
【14】	一番 雁ヶ腹摺山 姥子山	9月29日(土)
【15】	三番 大蔵高丸 ハマイバ	10月6日(土)
【16】	四番 滝子山	11月2日(金)

【17】考察

- (1) 更なる大月発見
 - ①全体を通して
 - ②秀麗富嶽十二景 日本一富士山が美しい十九の峰
 - ③大月の文化
 - ④悲しみの森
 - ⑤まとめ
- (2) 大月市民特性の地理的背景
- (3) 何事にも目的を持ってチャレンジ
 - ①心意気
 - ②チャレンジ ベスト5
 - ③失敗 ワースト5
 - ④楽しかった ベスト5

【18】まとめ

【13】秀麗富嶽十二景 四番 笹子雁ヶ腹摺山

9月9日(日)

大月駅 → 笹子駅 中央本線

笹子駅 → 新田地区 → 笹子雁ヶ腹摺山 → 笹一酒造 → 笹子駅

笹子駅 → 大月駅 中央本線



四番 笹子雁ヶ腹摺山

5時00分

起床。

この時期になると朝5時は、まだ薄暗い。

だいぶ日が短くなった感じがする。

秋の気配。秋は秋で楽しみがいっぱいある。

十分な朝食を取り、体力補強。

(ご飯大盛、味噌汁、目玉焼き&ウィンナー、
野菜ジュース。)

昨日は、午後十分休養を取ったので体調万全。

家内にJR大月駅まで車で送ってもらう。

5時53分

大月発甲府行に乗る。

6時03分

大月駅から二つ目の笹子駅に着く。

先週に引き続き、今日も笹子地区。

今日は、笹子雁ヶ腹摺山を登る。

今まで天候懸念により二度中止しているので

今日は、三度目の正直である。

今日は、ばっちり天気は良い。

ここで笹子雁ヶ腹摺山を紹介。

『渡り鳥であるガンが、その腹をするようにして尾根を
飛んでいくことからその名がついたと言われる。』

古くは、東側の米沢山(1357メートル)や、お坊山(1421メートル)
なども含めた一帯が笹子嶺と称した。

また、米沢山とはほぼ同標高であり、笹子側からみると尾根筋が
横に広がって見える。



毎度おなじみ笹子駅



駅から笹子雁ヶ腹摺山方面を望む

台形の山容から笹子御殿という名もある。
 山頂からの富士山の眺めは秀麗富嶽十二景の一つに選ばれている。
 西側の甲府盆地や南アルプスの展望も良い。
 山頂のほぼ真下に中央自動車道の笹子トンネルが通じている。
 山頂西側には東京電力の東山梨変電所に電力を送る超高圧送電線の西群馬幹線があり、高さ 100 メートル近い鉄塔が続いている。』



6時10分

笹子駅を出発。

途中まで

先週と同じ甲州街道を歩く。

正面に綺麗なお坊山が見えている。



普明禅院(田舎のお寺)

6時25分

普明禅院(田舎のお寺)を通過。

日本橋から25里の石碑有。

こじんまりとしたきれいなお寺である。

6時35分

先週登った清八山方面の分岐点に着く。

今日は、更に甲州街道を甲府方面に進む。

道しるべの下に赤いサルビアが綺麗に咲いている。

サルビアは、学生時代から好きな花なんだ。



分岐点の赤いサルビア

6時45分

笹子峠と笹子トンネルの分岐点に到着。

ちょうど一年前を思い出す。ブログから紹介。

『8時44分 18km歩行

旧甲州街道笹子峠越えと国道20号線笹子トンネルの分岐点に来ました。

選択に迷う。

笹子峠越えは、距離としては倍で坂がきつい。

天気も良くなり気温が上がって来た。

たぶん途中人はいないだろう。

熱中症で歩みが止まったらやばい。

また薄暗い古い狭いトンネルがある。

お化け屋敷が嫌いな小生にとって鳥肌もんだろう。

車で何度か通った事がある。



笹子峠と笹子トンネルの分岐点

一方、笹子トンネルは歩道がないはず。
2960mの長さで空気も悪いだろう。
しかし、一生に一回歩くのも貴重な経験だ。
兎に角行ってみよう！

笹子トンネル走破を選択。

8時53分 18.7km

トンネル入り口

「人・自転車に注意」の看板がある。

人の歩行の前例があるはずです。

常に車の様子が分かる様に対向車線側を歩くことにします。

8時55分

空気が相当悪い。タオルでマスクとしました。

大型トラックやバスが来た時は止まって出来るだけ

端に退避することになりました。

壁は真っ黒で触ると手が真っ黒になってしまいます。

予想以上に厳しい状況です。

9時10分

公団のパトロールカーが前方からやってきました。

通報されたか？

特に何もなく通過していきました。

9時15分 トンネル残り1330m(全2960m)

半分が過ぎました。

相当な緊張と注意で歩行しています。

たまにライトをつけない車両がやってきます。

その時は、歩行停止し大きく手を振って存在を示します。

9時18分

マスクをしているにもかかわらず、喉が痛くなってきました。

靴紐がほどけてしまいました。

かがむスペースがありません。

「イッア　トラブル！　トラブル！
メーデー！　メーデー！」

（航空機が非常事態に陥り、助けを求めている様子）
程の問題ではありません。
紐を靴に押し込んでと。

9時20分

残り1000m

相変わらず、いろいろな対向車が走ってきます。
たまに自転車が走ってきて不思議そうに小生の顔を見っていきます。

いずれにしても凄い経験です。

9時25分

ずっと先に出口の明かりが見えてきました。
頑張れ！

9時32分

残り130m。

9時35分

笹子トンネル出口です。
2960m、42分掛かりました。
それにしても空気が美味しい。
光がまぶしい。
歩道を歩く安心感がある。

たいへん貴重な経験でした。
二度と歩くことはないと思います。
皆さんは、止めた方がよいと思います。』

何事もチャレンジ！

今日は、去年苦勞して走破した笹子トンネルの上の道に行く。
笹子峠方面に進む。

6時49分

笹子雁ヶ腹摺山登山道入り口に到着。
よし、行くぞ！



登山道入り口

6時55分

早くも道を間違えた。
落ち着いて。振り出しに戻ることに。

7時00分

結構きびしい登り坂が続く。
早くも汗びっしょり。



きびしい登り坂

7時14分

登り坂が続いている。
時々太陽が顔を出す。
汗だらけの肩が光っている。



7時32分

小さな峠に来た。
休憩する。
木々が日を受けて緑がとても綺麗。
膝が痛いと思っていたら、笹で切ってしまった。
スポーツドリンクを擦り付ける。

”虫”と書いた白い石が三つ置いてある。
何だろう？ちょっと不気味。



虫の石 これ何？

汗が引いたので出発する。

7時55分

上前方に山が見える。
あれが笹子雁ヶ腹摺山だろう。
まだまだ距離がある。



笹子雁ヶ腹摺山が見える

8時05分

山頂間際か？きつい登り坂が続いている。

8時17分

得体の知れない構造物有。
何じゃこれ～？
バスケットボールのゴール板？



これ何？

8時20分

笹子雁ヶ腹摺山頂上に到着。
標高1357.7m。
山頂は思ったより狭い。
木々で覆われ、180度の展望。



笹子雁ヶ腹摺山 山頂

富士山は？ どこに？

残念ながら雲でお隠れ、残念！
南アルプス連山が見えている。

空を見上げると素晴らしい青空と白い雲。

これだけでも頂上に登った
価値はあった。

8時30分

富士の姿を待っている。
30分待ったが富士は姿を
見せなかった。
これもまた、運（雲）。



素晴らしい青空と白い雲

下山する。

9時20分

謎の虫の石地点を通過。

9時25分

20人位のおばさんの登山隊と行き会う。

おばさんたち : 「こんにちは！」

折 : 「こんにちは！」

おばさんA : 「トレイルランですか？」

折 : 「いや、早足で歩いているだけです。」

おばさんB : 「大勢に見られると恥ずかしいでしょ？」

折 : 「まったくです。」

おばさんC : 「でも、カッコイイからいいじゃないの。」

折 : 「デヘヘ。」

・・・内心：おばさんがもう少し若けりやもっとうれしいのに・・・

9時40分

ほんと、登りと下りでは同じコースでも全然景色が違う。

9時53分

道に枯れ葉で、すっかり秋の気配。

9時57分

登山道入り口着。

小さな小さな公園有。

ここで、のんびり休憩する。

日差しが強くなってきた。

10時20分

山間の甲州街道を笹子駅方面に進む。

昔の人は何を考えながら歩いていたのだろう。



ポスター 天気が良ければこんな感じ



おばさんたちとの出会いの場



枯れ葉で秋の気配



小さな小さな公園

10時52分
笹一酒造着。

まずは野外で缶ビールと歌舞伎揚。
缶パーイ！ ウマ！

さて、酒遊館に入って居眠り爺さんにご挨拶をしなければ。



居眠り爺さん

折：「居眠り爺さん こんにちは！」

居眠り爺さん：「お～お！折ちゃん こんにちは！ 久しぶりじゃのう。」

折：「そうですねえ。3週間ぶりです。
お体の具合はどうですか？」

居眠り爺さん：「よくないねえ～。電子制御装置が壊れて
もう十年位経つかのう。今ではじっと座っているだけや。」

折：「あの頃は、スイッチを押すと動き出して笹子の昔話をよく
してくれましたねえ。マスコミでもロボットとして有名でした。
社長は、直してくれないのですか？」

居眠り爺さん：「治療代が相当掛かるらしくて・・・」

折：「そうですか。残念です。」

居眠り爺さん：「しょうがないな。どこの会社も経営がたいへんなんだな。」

折：「はい。それでは話をかえまして、
笹一酒造はいつ頃創業したのですか？」

居眠り爺さん：「1919年（大正8年）11月3日に田辺酒造の
支配人であった天野久によって創業された。」

天野は従兄とともに笹子酒造の醸造権と醸造場を買収して独立し山梨酒造を創業し、戦後山梨酒造は解散し笹一酒造が創業された。



笹一酒造 全景

1951年（昭和26年）に株式会社化し現在に至る。日本酒をはじめ、焼酎やワイン、果実酒も製造している。関東地方一円に出荷している。」

折 : 「笹一は、大吟醸酒で何度も国際コンクールで優勝しているんですよ。
小生は何度も訪れて試飲しているのでその味は良く知っています。」

居眠り爺さん : 「そう、そう。
折ちゃんはよく来てくれるね。」

折 : 「常務の しむらけん さんとは、
すっかりお友達です。」



しむらけん常務

居眠り爺さん : 「そう、そう。折ちゃんはよく来てくれるね。
ん？ さっきと同じコメント？
制御装置が動き出したかな？」

折 : 「笹一酒造の魅力は、その製品群にあると思います。
近頃のお土産ベスト5は？」

居眠り爺さん : 「第1位 にごり赤ワイン
第2位 甲州にごりうめ酒720
第3位 吟醸酒720
第4位 生原酒アルミ缶
第5位 甲州にごりうめ酒300』

折 : 「本業の日本酒よりもワインやうめ酒が人気あるのには驚かされますね。」

多角経営企業戦略の商品戦略が成功しているのでしょう。」

居眠り爺さん : 「さすが！分析がするどい。お主、ただの酒飲みではないな。」

折 : 「恐れ入ります。もう一つ笹一酒造の企業戦略として
宣伝戦略があると思います。
場内に大月紅富士太鼓団の世界平和太鼓が置かれていますね。」

居眠り爺さん : 「これは2001年7月にギネスブックに登録された
世界一の太鼓じゃ。

名称 / 世界平和太鼓
種類 / 桶胴太鼓
原木名 / 杉
皮 / 牛
太鼓直径 / 4.8m
胴全長 / 4.95m
胴仕上げ / 漆(朱塗り)
重量 / 約2トン」



世界平和太鼓

折 : 「大月紅富士太鼓団は、今では日本国内は基より世界各国に
出かけて親善講演を行っているそうですね。
小生の知り合いも何人かいます。
小生も一時期入団を考えてこともありました。」

居眠り爺さん : 「それは残念じゃ。仕事ばかりが人生じゃないぞ！」

折 : 「はい。ゆっくり考えます・・・
さて、それではそろそろお邪魔します。」

居眠り爺さん : 「寂しいのう。今度、いつ来る？」

折 : 「近じか四番滝子山登山の時に寄らせてもらいます。」

居眠り爺さん : 「わかった。それでは御機嫌よう。」

折 : 「居眠り爺さん それまでお元気で。」

居眠り爺さんは、やさしい目で見送ってくれました。

11時17分

笹子駅、高尾行に乗る。

11時30分

大月駅。

家内に向かえに来てもらう。

しかし暑い。

今日は日曜日なので、次の日の事を考えてショートコースを選んだ。

それでも結構足にきた。

夜はこってりと油の乗った豚肉にしてもらった。

こうして、四番 笹子雁ヶ腹摺山登山は、無事終わりました。

次の日の月曜日の会社では、やはりどんよりと体が疲れておりました。